

ESDってなんだ？ vol.2

『ESDを学校ですすめるために』



岡山市教育委員会事務局指導課

この冊子のねらい

この冊子は、岡山市立学校のESDの実践をより充実させるためのヒントを示したものです。

岡山市の先生や様々な立場の方と、ESDに関する課題を洗い出し、話し合ったことを元に作り上げた冊子です。

自分の疑問や関心のあるところからお読みいただくことができます。

次の実践への参考として、校内研修の資料として・・・ぜひご活用ください。

なぜ、学校でESD?

岡山市の目指す つながりを大切にした教育

①縦と横でつながる教育

②未来へつながる教育

自立に向かって成長する子ども
(自立する子ども)

自分を高める

豊かな人間性

共に生きる

縦のつながり
中学校区を単位とした
学校園一貫教育
岡山型一貫教育

学校園

横のつながり

岡山市地域協働学校

行政

事業者

家庭

地域社会

岡山市市民協働による自立する子どもの育成を
推進する条例
(岡山っ子育成条例)

身近な地域課題をESDの視点で総合的につなげ、継続して取り組むことで未来をよりよくしていくために必要な資質能力を育てる。



これからの時代を担う子どもたちが持続可能な社会づくりの担い手となるような学校教育を進めていく必要があるんだね。

もくじ

赴任した学校はコネスコスクール。総合的な学習の時間に地域や環境のことについて学んでいるから認定されたらしい・・・

先生、ESDってなあに？

持続可能な社会ってどういうこと？



ケロ先生



フラワーちゃん

I そもそもESDって？ p. 3

II ESDってこれでいいの？

- 1) 「総合的な学習の時間」とどう違うの？ p. 4
- 2) どう見直せばいいの？ p. 5
 - a) ESD学習活動を見直す三つのポイント p. 6
 - b) 実際に見直してみました！ p. 7
 - c) 一つの学年や教科・領域だけで取り組めばいいの？ p.10
 - d) ESDのプロジェクトづくり p.11
- 3) 地域との関係はこのままでいいの？ p.12

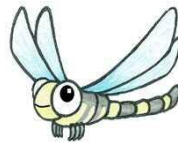
III ESDを進めていくと？

- 1) 何が期待できるの？ p.13
- 2) 長年ESDに取り組んでいる学校と地域から p.14

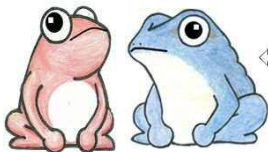
■ 登場キャラクター紹介



⇐フラワーちゃん
：子どもたち



⇐トンボ先生
：ESDに数年取り組んでいる



⇐ケロ先生&クワ先生
：ESDは初めて



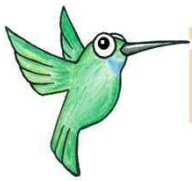
⇐コイさん：地域の方



⇐ハチドリさん：ESDのガイド役
皆さんと一緒にESDを考えていきます。

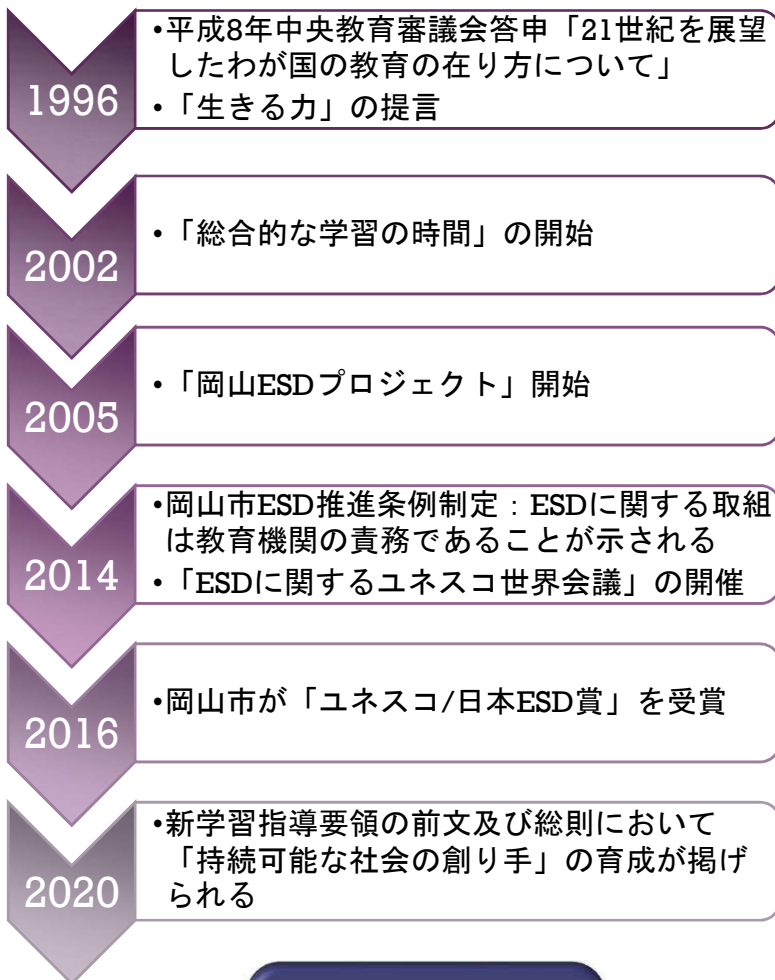
I そもそもESDって...?

ESDのはじまりとこれから ~世界と岡山の主な動き~

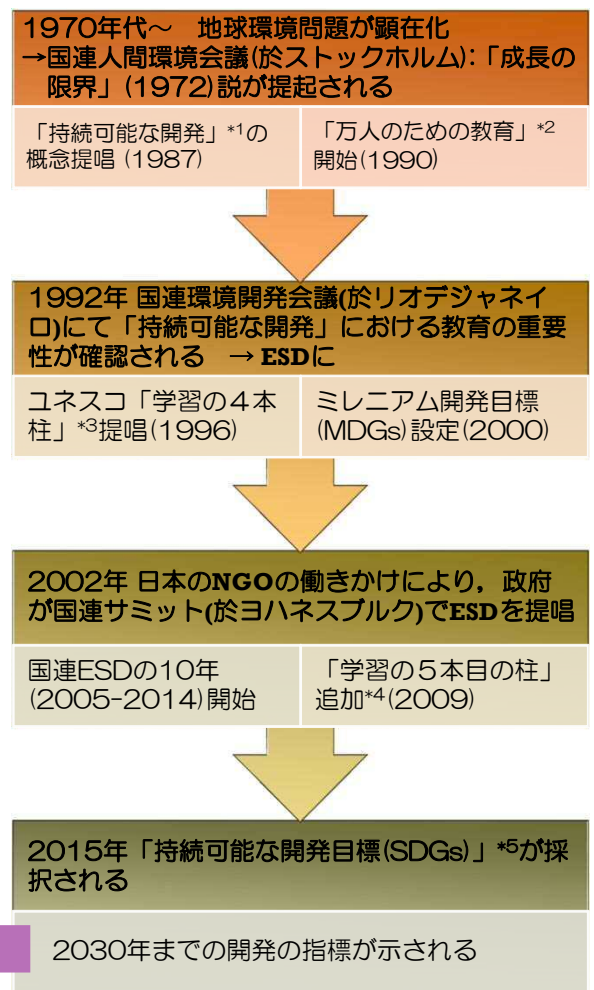


ESDは、「現代社会の持続不可能な在り方がどうすれば持続可能なものになるのか」学び、実践しながら問い直していく、学習や活動なのです!

<学校教育・岡山市の動き>



<世界の動き>



*1「持続可能な開発」=将来世代の需要を損なうことなく現在世代の需要を満たすような開発(ブルントラント委員会)

*2「万人のための教育」=すべての人が2015年までに初等教育を受けられるようにする国連の取組

*3「学習の4本柱: ①learn to know ②learn to do ③learn to live together/with others ④learn to be」=生涯学習の基本理念であり、我が国でも21世紀に向けた教育の在り方・「生きる力」を提唱するに際して大きな影響を与えた。

*4「学習の5本目の柱: 自己と社会を変容させる学び」=国連ESDの10年の中間年報告において、上記の4本柱に加えられ、かつESDの核心となるものとして提示された。つまり、ESDは単に個人のスキルや能力の発達を求めているだけではなく、多様な関わりの中で学ぶことが大切であり、そのような学びが社会に変容をもたらしていくという理念が強調された。

*5「SDGs=Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」:2015年に国連で合意された2030年までの開発目標

II ESDってこれでいいの？

1) 「総合的な学習の時間」とどう違うの？

ESDは「地域に関する学習」のことだと思って、続けているんですが・・・このままでよいのでしょうか？

体験的な学習で、いろいろな分野のことを学習するのだから、「総合的な学習の時間」=ESDなのかな？

別にESDと言われなくても、今まで実践されている先生もおられますよね。



トンボ先生



クワ先生



ケロ先生



ハチドリさん

「総合的な学習の時間」に、以下の視点を入れていけばESDになっていきますよ！

ESDに不可欠な視点

問題意識	現代社会の持続不可能性 不確実で予測不可能な未来社会
価値観	人と人、人と社会、人と自然の「つながり」・「関わり」を大切にする 将来世代に対する公正さ・責任
目的	様々な人々とともに、持続可能な社会を「つくる」力を育む
重視する力	世界の「持続可能な開発」の課題に対する当事者性・主体性（自分ごととして捉え、考え、行動する力）
取り組み方	世界の問題を視野に入れて、身近な地域の課題に取り組む 様々な領域や立場の人が関わる
学習者	子ども・大人・地域の人・障害のある人・高齢者などあらゆる人

確かに・・・今まで社会に“関して”学んではきたけれど、一緒に社会を“創っていく”という視点はなかったね。



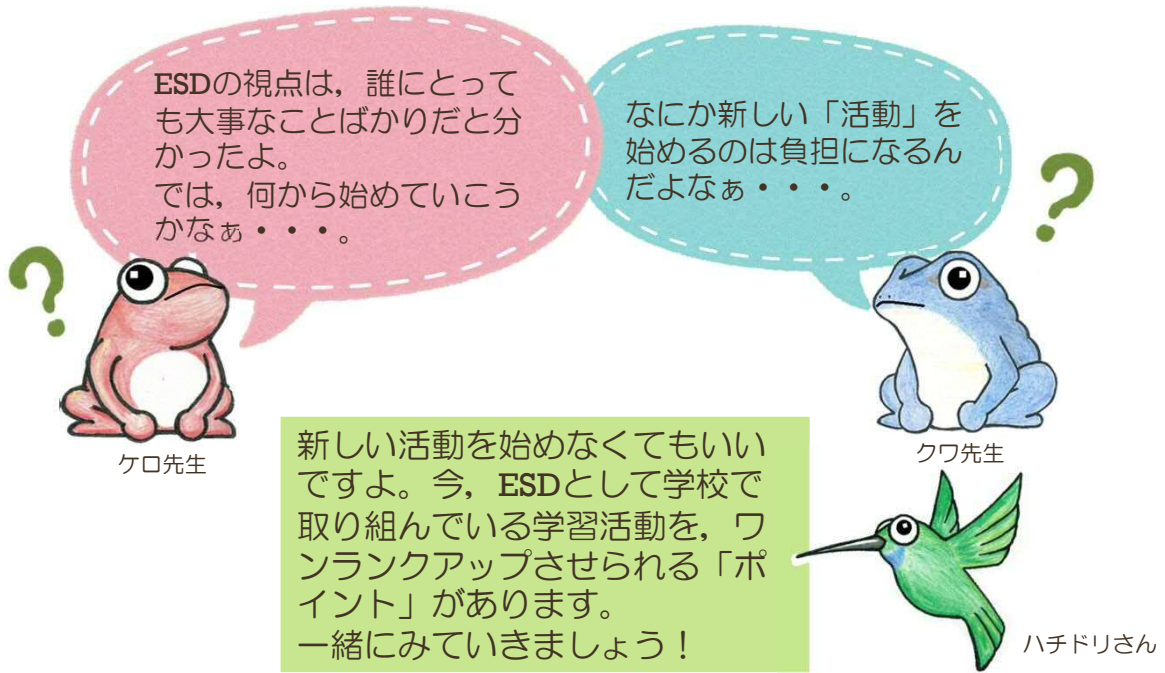
先生も、ね！

いつでも・
どこでも・
誰もが
学習者

地球のどこ
にいても大
事な力

↑ユネスコスクール研修会に参加した先生方のESDに対する気付き。

2) どう見直せばいいの？



POINT 1 目標の設定

一番に大切なことは、学習活動の目標の設定です。

活動目標に「持続可能な社会づくり」の視点が含まれるように設定します。

POINT 2 やり方の見直し

目標の達成と同様に大切なのは、その「プロセス」＝学びの在り方です。

誰もが学習者であること、文化や意見が違うこと、互いに関わり学び合うことなどを尊重したやり方になっているかを見直します。

POINT 3 つながりのもち方の見直し

ESDは、モノ・人・事柄の「つながり」を、より持続可能な在り方に再構築していく試みでもあります。学びがどう未来に繋がるのか、誰と一緒に学ぶのか、何と何を関連付けて学ぶのか、といった「つながり」が意識されているかを見直します。



次のページの「表A」に各ポイントのチェック項目をあげています。これを用いて、今ESDとして取り組まれている学習活動を見直してみましょう。

a)ESD学習活動を見直す三つのポイント

【表A】



現在、学校で行われている活動について振り返り、右の空欄に記入したり、項目をチェックしたりしてみましょう。

POINT 1: 目標を見直して再設定する	自校の取組
♥世界の持続可能性の課題（環境・経済・社会・文化等）とどう関わっているか？	
★その活動で、子どもたちは（大人たちも）どのようなことについて考えるのか？	
◆活動を通じて、持続可能な社会づくりに向けたどのような力を育もうとしているか？	
POINT 2: やり方を見直す	Check
♥地域の人・活動のパートナーとESDとしての活動目標が共有され、協議される機会がある。	
★大人たちがあらかじめひとつの「正答」を用意せず、不確実で答えのない問題に向き合おうとしている。	
◆子ども自身に深い「問い」が生まれてくることを、積極的に評価できるような仕組みになっている。	
POINT 3: つながりのもち方を見直す	Check
♥教科・活動・学年の間で内容が関連付けられた、より長期的なプロジェクトになっている。	
★地域の人・活動のパートナーと学校は、単なる協力や依存の関係ではなく、対等に協働・連携し、一緒に企画したり、学習を振り返ったりしている。	
◆地域の「こ保幼小中高大」の連携や、他地域の学校との交流をもととしている。	

・・・いかがでしたか？今の活動をESDとしてさらに磨いていくための手順・ポイントがみえてきましたね。次のページに表Aに基づいて見直した実践事例を紹介します。参考にしてください。

